

【地域に生き世界に伸びる Live Locally, Grow Globally】

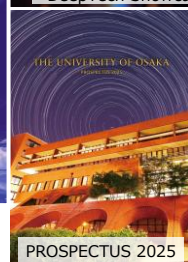
研究力強化

- THE世界ランキング **世界162位**
産業界との結びつき指標で**世界1位タイ**
- JST「創発的研究支援事業」
本学**過去最大の22名の若手研究者**が採択
- 医学系研究科 武部貴則 教授
◆**イグ・ノーベル賞** 受賞「腸呼吸」
呼吸不全に対する新たな治療法への応用に期待
◆**神戸賞**《Young Investigator賞》受賞
- 第21回 日本学術振興会賞 **4名**受賞
- 革新的GX技術創出事業（GteX）に**2年連続採択**
「軽量・小型・大容量を特徴とするリチウム空気電池の開発」
- 文科省「学際領域展開ハブ形成プログラム」**2年連続採択**
蛋白質研究所「多プローブ×多対象×多階層のマルチ3構造科学拠点形成」
- 大阪大学医学部附属病院 **統合診療棟** 竣工
「Futurability 待ち遠しくなる未来へ。」
超高齢化社会“最後の砦”として
医療ニーズへ柔軟に対応
◆最先端医療開発
◆高度医療人の育成など



国際協働

- 量子情報・量子生命研究センター（大阪大学QIQB）
ユネスコ「**国際量子科学技術年**」**日本初の公式パートナー**に就任
- 文科省「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」**採択**
- 「**Osaka University DeepTech Showcase**」開催
本学のグローバル展開に資する現地ネットワーク強化
- 国際的プレゼンスの向上を図る**公式英語名称の変更**
- **The University of Osaka** へ -
- 文科省とユネスコの共同事業
「UNESCO研修プログラム」（長期インターンシップ派遣）
第1期生 本学の**博士後期課程**に在籍する**2名**が**選出**
- 本学の魅力やデータをグローバルに伝える「**PROSPECTUS2025**」発行



人材育成・獲得

- 「**大阪大学福島拠点**」新設
被災地から始まる復興支援と
環境放射線教育に貢献
- 大阪大学 福島拠点
Fukushima Center, The University of Osaka
- 大阪大学・日本財団
感染症センター 竣工
「知」と「人」が結集する
感染症総合知のハブとしての取組強化
- 感染症学・免疫学学位プログラム始動
国際的に感染症学、免疫学をけん引する先導者育成
- JSPS「**卓越大学院プログラム**」
中間評価に続き事後評価でも **最高位S評価** 獲得
生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養



社会との共創

- 大阪大学とりそな銀行が**連携協定締結**
社会課題解決に向けた「OUエコシステム」×「りそなネットワーク」
- 第2回** 経済界と大阪大学の連携の場
「新価値×進化知」創造のダイナミズム
- 2050年世界を語り切り拓く - 開催
『国際社会を牽引する
- 世界を巻き込む人材 “共育” - 』
- QIQB 根来誠 准教授(当時)・キュエル株式会社（本学発ベンチャー企業）
大学発ベンチャー表彰 **文部科学大臣賞 共同受賞**
量子コンピュータ制御装置の開発・製造・販売を評価
- 共同研究講座、協働研究所の設置数：**116件**
1,000万円以上の大型共同研究費受入 **87.0億円** 全国**2位**
- 阪大ふくふくセンター「ことばの教育・継承・復興」
多文化共生社会の実現における言語の問題をテーマとしたシンポジウム
本学研究者・学生その他、国内外の教育者・団体など**約130名**が参加
- 第1回 大阪大学LINKS** -未来を拓く知の挑戦-
本学卒業生・修了生などとの
“つながり -LINKS-” の拡大
東京もターゲットにしたPR展開

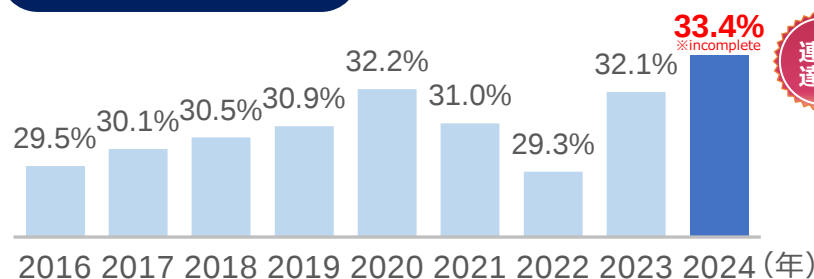


ガバナンス改革・財務基盤の強化

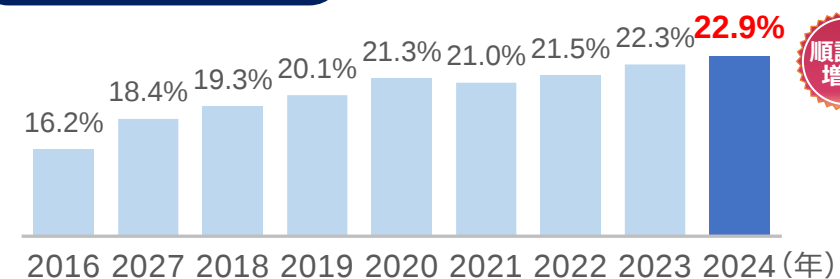
- 全国の大学で**最大規模の顔認証システム**導入
OUIDを中心とする情報基盤整備を着実に実施
- 社会変革への姿勢と戦略を伝える「**統合報告書2024**」発行
- 文科省「国立大学経営改革促進事業」**採択**
エンゲージメント型大学経営に向けた財務基盤の強化
- 『はばたく次世代』応援寄附プログラム（第一三共）**2年連続採択**
“はばたく次世代”研究者育成3職協働プログラムの全学的研究交流会実施
- 文科省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
（全国ネットワーク中核機関（群））」事後評価 **最高位S評価** 獲得
- 女性研究者比率 **23%**、女性役員比率 **36%**、経営協議会外部女性委員比率 **50%**



国際共著論文比率(%) (2023年度目標値：30%台を維持)



女性研究者比率(%) (2031年度目標値：30%に近づける)



共同研究収入(億円) (2031年度目標値：125億円)



取組の
主要KPI

「総合知」と「実践力」を駆使し未来社会に貢献する

Redefining Japanese Universities through Convergence Knowledge and Practical Competence

大阪大学がこれから
目指す方向性